於大の方も愛したといわれる“幻の花”花かつみ

一般公開期間　6月8日(土)～23日(日)　午前9時～午後4時

草木地区にある花かつみ園で、保存会の皆さんが大切に保護している「花かつみ」の一般公開が始まります。

“をみなえし　咲く沢（佐紀澤）に生ふる　花かつみ
かつても知らぬ　戀もするかも”

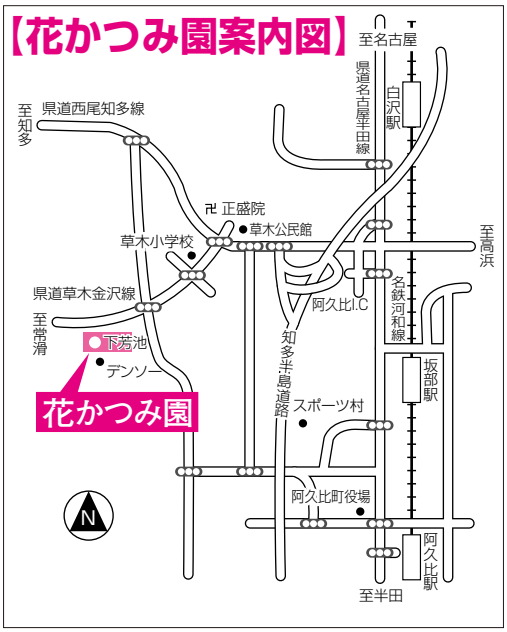
万葉集には、中臣郎女（なかとみのいらつめ）が大伴家持（おおともやかもち）に贈った歌があります。後に松尾芭蕉が『奥の細道』に記したように「花かつみ」は捜し求めても見つからない幻の花といわれてきました。

阿久比町ではアヤメ科の多年草で6月上旬から中旬にかけて鮮やかな紫色の花を咲かせる野花菖蒲（ノハナショウブ）のことを「花かつみ」と呼んでいます。

室町時代に伯耆（ほうき）の国（今の鳥取県）から草木の下芳池に移植されたと伝えられ、桶狭間の合戦の際には、徳川家康の生母於大の方が家康の武運長久を願い、坂部城で「花かつみ」の「勝つ」という名前に思いを込め、仏前に捧げたという伝説も残っています。

大正時代には、絶滅してしまったともいわれましたが、昭和になって草木の俳人竹内丁子が自生の一株を発見し、地元の人々によって密かに保護されてきました。

昭和62年に「花かつみ保存会」が結成され、同じ年には「花かつみ園」が開園しました。保存会の皆さんの手で整備され、現在は約2,500株の花かつみが園で育てられています。開園以来“幻の花”は毎年美しい花を咲かせ、見物に訪れた多くの人を魅了しています。



期間中、短歌・俳句・狂俳・写真などの作品を募集します。短歌・俳句・狂俳は、園内のボックスに投函してください。

■**早朝公開**　15日(土)、16日(日)　午前6時～

■**期間中のイベント（雨天中止の場合有）**

- 写真撮影会　9日(日)
- 獅子舞　15日(土)　午前10時
- 津軽三味線　15日(土)　午後1時
- 和太鼓　16日(日)　午前11時、午後1時
- モデルを招いての特別撮影会　22日(土)　午前10時～正午

※　開花状況などにより、公開期間、行事内容を変更する場合があります。

■**問い合わせ先**　産業観光課観光係
☎(48)1111（内234・369）

阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
◎ボランティア活動に、すすんで参加します。

4月　救急・火災

救急	77
交通事故	2
急病	55
その他	20

火災	1
建物	0
車両	1
その他	0

阿久比町消防団
出動人員　7人

■発行／阿久比町（〒470－2292　愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50　☎0569(48)1111）編集／総務部政策協働課
■阿久比町ホームページ　http://www.town.agui.lg.jp/

資源を大切に！この用紙は再生紙を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。
■問い合わせ先　阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター ☎(48)1111